

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成 25 年 5 月の動向

- 広島市総合指数（99.5）は前月比で 3 か月連続の上昇。前年同月比は 12 か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.7）は前月比で 4 か月連続の上昇。前年同月比は 13 か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.4）は前月比で 4 か月連続の上昇。前年同月比は 21 か月連続の下落。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.5	0.1	▲0.7
生鮮食品を除く総合指数	99.7	0.2	▲0.6
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.4	0.1	▲1.1

## 3 前月からの動き

～光熱・水道は上昇、家具・家事用品は下落。～

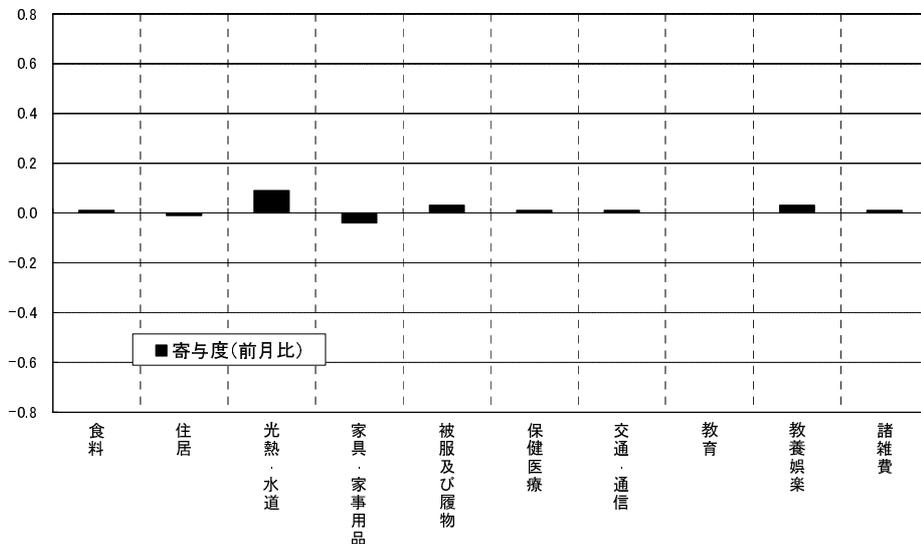
### (1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.5	98.9	98.8	107.5	92.7	102.0	98.6	102.1	98.8	92.8	104.2
前月比 (%)	0.1	0.0	0.0	1.2	▲ 1.1	0.6	0.2	0.1	0.0	0.3	0.2
寄与度	0.1	0.01	▲ 0.01	0.09	▲ 0.04	0.03	0.01	0.01	0.00	0.03	0.01

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電気代（前月比 1.8%，寄与度 0.07）等  
 家具・家事用品：家庭用耐久財（前月比 ▲2.5%，寄与度 ▲0.03）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
果物 (バナナ 等)	8.4%	野菜・海藻 (たまねぎ 等)	▲3.0%
電気代 (電気代 等)	1.8%	魚介類 (かれい 等)	▲2.6%
外食 (ハンバーガー 等)	0.8%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲2.5%
通信 (携帯電話機 等)	1.0%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲0.3%
ガス代 (都市ガス代 等)	1.3%	家事用消耗品 (台所用洗剤 等)	▲2.1%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道は上昇, 教養娯楽は下落。～

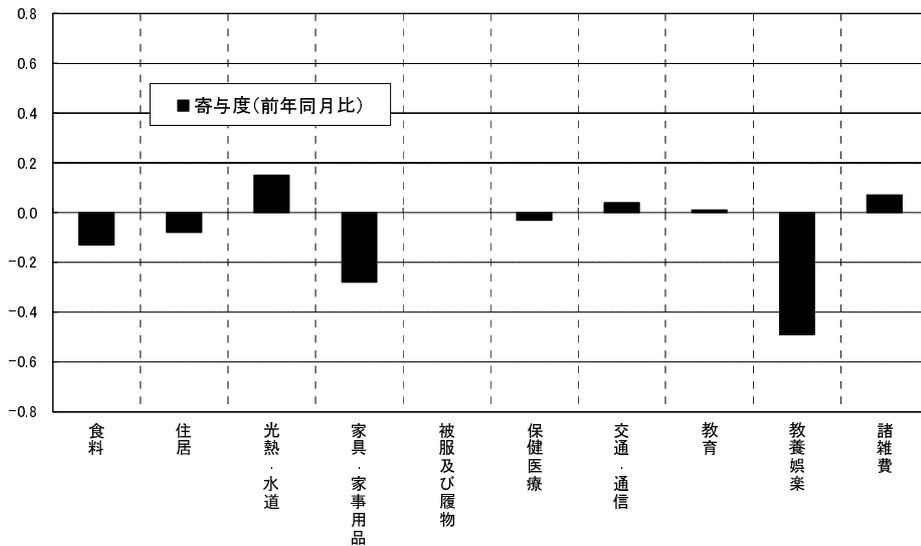
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 0.4	1.9	▲ 7.0	0.0	▲ 0.6	0.3	0.4	▲ 4.4	1.0
寄与度	▲ 0.7	▲ 0.13	▲ 0.08	0.15	▲ 0.28	0.00	▲ 0.03	0.04	0.01	▲ 0.49	0.07

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：電 気 代 (前年同月比 2.4%, 寄与度 0.09) 等  
 教養娯楽：教養娯楽用耐久材 (前年同月比 ▲12.0%, 寄与度 ▲0.22) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (自動車保険料[任意] 等)	1.5%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲12.0%
電気代 (電気代 等)	2.4%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲13.2%
身の回り用品 (ハンドバッグ[輸入品] 等)	8.1%	野菜・海藻 (じゃがいも 等)	▲7.1%
外食 (ハンバーガー 等)	1.3%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲2.3%
ガス代 (都市ガス代 等)	2.0%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲6.8%